



遠隔操縦作業（操縦室）

無人化施工バックホウ

遠隔操作により安全な掘削、切土作業ができます
分割して災害現場へ空輸することができます

■特徴

- ・1回に1.0m³の土砂掘削が可能
- ・リモコンにより遠隔操作が可能
- ・遠隔操縦時には、車体に搭載されたカメラにより掘削状況を確認可能
- ・車体を13分割することでヘリコプターで空輸可能
- ・バケットをつかみ機に交換することにより土砂崩落現場での倒木除去運搬が可能



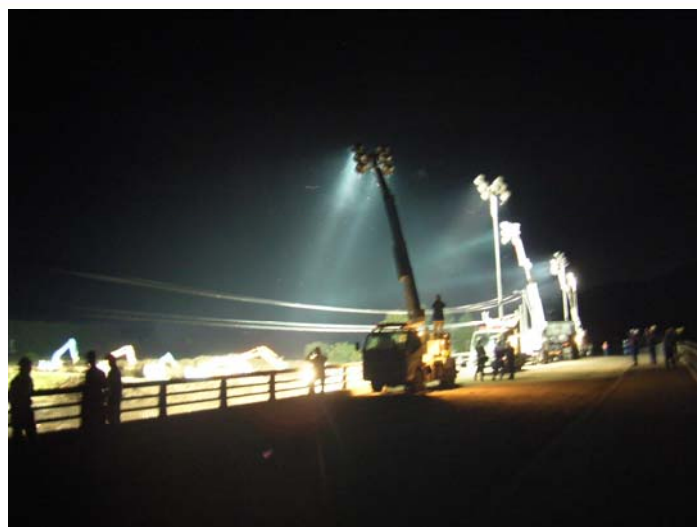
つかみ機



車体を分割し空輸可能



無人化施工バックホウ



平成30年北海道胆振東部地震

平成30年9月6日に胆振地方中東部で発生し、北海道から東北地方にかけて震度5弱～1を観測した。この地震により北海道厚真町では大規模な土砂崩れが発生し、中部技術事務所の照明車3台、バックホウ1台を派遣し、復旧活動を実施しました。



平成28年熊本地震

平成28年4月14日及び16日に熊本地方で発生し、熊本県益城町では震度7を観測した。この地震により土石流、地すべり、崖崩れ等の土砂災害が多く発生した。規模の大きい余震が続き危険な被災現場であっても、オペレーターが搭乗せずに作業が可能な無人化施工バックホウ2台を中部技術事務所から派遣し、復旧活動を実施しました。

